

## 久留米



2009年 62号

[SEPTEMBER 29, 2009]

久留米工業高等専門学校企画主事室  
〒830-8555 久留米市小森野1-1-1  
TEL:0942-35-9300  
<http://www.kurume-nct.ac.jp/>

## 学生諸君に望むこと

教務主事 馬越 幹男

我々が「働くこと」について、正社員になれば過重労働、非正規社員になれば生活もままならないという声をよく聞きます。悲観的に見ればそのような側面もありますが、「働くこと」には、収入を得て生活の糧とすること、希望を叶えること、創造的な仕事に取り組んで人生を充実させること、あるいは社会に貢献することなど、我々の人生の中では様々な意味合いがあるでしょう。学生時代は、いずれ「働くこと」になるための準備段階であり、心身を鍛練し、働くために必要な能力を身につけるべきときです。

高専で過ごす5年間、専攻科を含めれば7年間になりますが、この時期は学生諸君にとって疾風怒濤の時期でしょう。楽しいことばかりではありません。学生諸君の中には勉学に対する不安、将来の進路に対する不安に悩む人や、享乐的な自由に身を任せてしまう人がいます。それを自分自身の問題として受け取るのは辛いことで、親のせい、先生のせい、学校のせい、さらにはゆとり教育のせいにしてしまいたくなります。周囲の人が支え、助けることはできますが、最終的に克服するのは諸君一人一人です。

過去30年来、私が聞いてきた中学校の先生方のお話によりますと、久留米高専は難しくてなかなか入れてもらえない、また目的意識の高い生徒が本校を希望しているそうです。実際に自由な雰囲気の中で育まれた久留米高専の卒業生は、11,000名を超え、産業界を始めとして様々な社会分野で活躍しています。詳しく調査していませんが、大学あるいは大学院に編入学した卒業生も多くは研究開発や生産技術の第一線で活躍しています。その評価は高く、これまで蓄積されてきた本校の伝統は、皆さんの中にも脈々と受け継がれています。

繰り返しになりますが、心身の鍛練と日々の勉学を欠くことはできません。そのためには、日々の積み重ねが大事で、基礎学力を身につけるために授業を大事にすること、暗記に

頼りすぎないこと、勉強の仕方を工夫することの三つを心がけてください。閉塞感が漂っている現在の日本の社会ですが、将来に亘って技術者不足が続くと予想され、今後学生諸君への期待はますます大きいものとなるでしょう。

先輩諸氏が実現してきたことは、諸君にもできるはずで新しい境地を切り開けるはずで、自信を持って力強く前進しましょう。

## 「自立の精神」でもって「自由な校風」を育もう

学生主事 櫻木 功

本校は旧高専・短大の伝統を受け継ぎ、「自立の精神」を最も重要な理念としてきました。これはよい意味での「自由な校風」に繋がりますが、中には基本的なルールを守らない学生が見受けられます。そうになると、校則や取り締まりを厳しくせざるを得ず、「自由な校風」が失われ、多くの学生が迷惑を受けます。私は、学生の皆さんが卒業するまでの間に自立の精神と、事の善悪を判断する見識を身につけなければならないと考えていますが、まずは基本的なルールを自主的に守り、久留米高専の学生としての品位と誇りをもってほしいと思います。

一口に自立といっても、独りよがりになってはいけません。まず、自立するには家族、先生、友達、先輩、後輩など多くの人々と信頼関係を築き上げることが大切であろうと考えています。高専では勉学はもちろん課外活動あるいは学生寮での生活など周囲の人たちと関わる機会はたくさんあります。特に学生会を中心とした課外活動では、同じ目標を目指して活動しています。高専の場合、学生の年齢層が15~22歳と幅広いために違った考えや思いを持った人たちと、より一層協調しなければなりません。学生の皆さんには、是非とも課外活動に取り組み、多くの人との信頼関係を築き上げて欲しいと思っています。

前述したように、基本的なルールを守ることが自立への第一歩です。例えば、交通ルールや駐輪、駐車マナーを守ることを心がけて下さい。本校は交通の便が良いことから、自宅通学生が多く、全体の約88%を占めています。その内訳は、徒歩通学生が約130名、バス通学生が約100名、自転車通学生が約620名、自動二輪車・バイク通学生が約160名、自動車通学生が約100名です。また、寮生の中でも運転免許を取る人は多いと思います。このように多くの学生が様々な交通手段で学校に乗り入れるため、校内・外での交通ルールを守ることが大変重要になります。交通事故は思わぬときに起こるものですが、他人に怪我をさせたり、自分自身が怪我をすることは十分起こりえることです。このような悲劇を招かないためにも、学生一人一人が責任を持って、交通ルールを守って下さい。

学生主事室では皆さんからの意見を広く集めて、駐輪、駐車場の整備を始めとして教育や課外活動に適した環境を創り上げていきたいと考えています。そのためには皆さん自身が、意識してルールを守り、課外活動等に励むことが大切です。お互いに協力して、これまでの伝統の上に新しい伝統を築きあげましょう。

う計画です。これを受け、昨年度から、寮生会は目に見えて活性化してきました。特筆すべきは、美化委員会の活発な活動によるごみ分別の徹底です。この活動により、年間約60万円の経費削減と年間約6トンのCO<sub>2</sub>排出量削減を実現しました。また、昨年度末に試行した週一回のTA（Teaching Assistant：上級生が1年生に勉強を教える）制度も好評でした。この結果を受け、今年度4月から本格導入しています。その他にも、様々な取り組みがあります。これらの原動力は何と云っても、寮生会の自主性です。本校の教育理念である「自立の精神と創造性に富み…」を見事に実践してくれています。これこそが、他高専や大学に負けない「久留米高専の文化」ではないかと思っています。

通学生およびその保護者の皆さん。今年度に入っても、寮長の堀一真君(現4A)を中心に、様々な改革を行っています。今年度の目標は150名です。各クラス1名ずつ入寮してもらえれば、目標を達成できます。随時、入寮願を受付けていますので、入寮を希望する人は、寮事務室に来て下さい。

私の長期目標である「地球一周」が達成できるのは5年後の予定です。その前に、「V200」プランが達成できていることを楽しみにしています。

## 筑水寮「V200」と「地球一周」

寮務主事 江崎 昇二

人生を豊かにするための方法の一つとして、「目標設定」があることは皆さん良くご存知のことだと思います。また、その目標が定量的（数値）であれば、より良いものになることも。

私の趣味はマラソンです。本来不精な方なので、続けるための方策として、10数年前に、短期：「月間200km」、中期：「年間2,000km」、長期：「地球一周（4万km）」の目標を設定しました。このおかげで、20年前に85kgであった体重が68kgになり、様々な「おまけ」もついてきました。

筑水寮も、昨年度、当時寮長の福島拓哉君(現5E)が中心となって「V200」プランを策定しました。以前から130名程度で推移している寮生数を、平成24年度に200名にしようとい

## 主事就任にあたって

専攻科主事 泉本 英次

平成19年度より2年間、主事補として専攻科の運営に携わってききましたが、今春、専攻科主事を拝命しました。他高専と比較して、長い歴史を有する本校の専攻科ですが、ここに学んでよかったと一層誇れるような専攻科を、皆さんと力を併せて築いていきたいと思っています。

まず今年は、JABEEと呼ばれる日本技術者教育認定機構の審査を受けていることを報告しなければなりません。これは、本科4・5年および専攻科で行われている教育プログラムが、技術者教育として社会の要求水準を満たしているかどうか評価されるものです。本校にとって、また何よりも専攻科で学ぶ皆さんにとって、審査をパスし認定を得ることが必要です。皆さんのご協力をお願いするところです。

次に専攻科のカリキュラムですが、この2年間で機械電気システム工学および物質工学両専攻の専門科目の増設を行ってきました。その結果、専門科目に関する改善の要望は減少した一方で、英語教育に対する要望が、専攻科生や修了生のアンケート調査結果に目立つようになりました。「専門書を読むときに、英語力のなさが身にしみる・・・」という修了生の声も聞かれます。文法や語彙などの基礎から応用まで、一般と専門の英語担当教員が一緒になって議論し、本科から専攻科までの英語教育プログラムの再検討が必要ではないかと感じています。また専門教員も授業中に説明する専門用語に英語を付記する等の対策が必要だろうと思います。さらに、読解力だけでなく、希望する専攻科生に対して海外インターンシップを導入することにより、会話などの実践的な英語力を養い、異文化に対する理解力を高めることも重要です。このような様々な取り組みを行っていきたくと考えています。

最後に、専攻科棟の施設についてですが、「専攻科生の居場所がない」という声が聞かれます。確かに専攻科棟は講義室としての利用が主で、就職や進学に関する情報検索や、論文作成などを行うスペースがありません。最近示された学校全体の施設・設備計画では、専攻科棟に教育・研究拡充のためのワークショップルームなどを設置することも考えられています。専攻科生同士の自由な交流スペースにもなるよう、皆さんの意見も汲みながら改善に努めたいと思います。

## 企画主事室の活動

### 企画主事 綾部 隆

企画主事室の業務は中期構想の策定や年度計画の整備、広報活動、学校全体の自己点検・評価、認証評価への対応など多岐にわたりますが、全国の国立高専を統括している独立行政法人「国立高等専門学校機構」(略して高専機構)の方針や計画に基づいてこれらの仕事をすることが多いため、学生や保護者の皆さんには企画主事室の活動は分かりにくいと思います。企画主事室と皆さんとの直接の接点は、この高専通信と本校のHPくらいでしょうか。

高専機構は平成16年度に第1次5ヵ年中期計画を、平成21年度に第2次5ヵ年計画と年度計画を公表しています。全国の高専はこの中期計画、年度計画に沿って各高専独自の5ヵ年計画、

年次計画を立てます。本校も本校の中期構想を加味した中期計画案、重点事項を選定した年度計画案を企画委員会で審議した後に校長に答申することになっています。その具体的な作業は企画主事室で行います。

企画主事室のもう一つの重要な仕事は認証評価(正式には、高等専門学校機関別認証評価)への対応です。学生の皆さんは、本校がJABEEによる技術者教育プログラムの審査を今年度受審することを耳にされていると思います。では、認証評価と何が違うのでしょうか? 大雑把に言ってしまうと、どちらも大学、高専の教育水準、学生支援、学校運営などを審査する点では同じです。ただ、JABEEは非政府団体の日本技術者教育認定機構であり、各専門分野の学会と協力して技術者教育プログラムの審査・認定を行うもので、その技術者教育プログラムは本科4・5年と専攻科が対象となります。一方、認証評価は文部科学省が法律で定めた自己点検・評価制度で独立行政法人「大学評価・学位授与機構」の評価を全国の国立大学、高専が受けます。専攻科修了生に対する「学士」の学位授与もこの機関が行っています。認証評価は、11からなる基準について、教育研究活動の総合的な状況が一定の水準を満たしているかどうかを評価するもので、教育研究活動の向上を目指しています。この認証評価は7年に1回、評価を受けなければならない、本校は平成24年度か25年度に評価を受ける予定です。

本校の課題は、学校全体としてのPDCAとFDが十分に整備されていない点です。PDCAはPlan(方針、計画)を立て、Do(実行)し、Check(点検・評価)してAction(対策、改善)を継続的に行うことで、企業の生産管理、品質管理に使われている手法です。FDはファカルティ・ディベロップメントと言い、教員自らが授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みです。教務主事補、専攻科主事補、企画主事補の教員で構成された授業改善専門部会や教務主事室が中心となって推進していますが、企画主事室も関係しています。他の主事室やセンターとも連携しながら、PDCAサイクルやFDを充実させていきたいと考えています。

## 新任者紹介



南山 靖博 (みなみやま やすひろ)  
 職名 機械工学科 助教  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 北九州市立大学 大学院  
 国際環境工学研究科 環境工学専攻  
 博士後期課程  
 抱負 僕は呉高専出身であり、高専が好きでこの久留米高専に赴任して来ました。学生気分がなかなか抜けなかないかと思いますが、がんばりますので、よろしくお祈いします。  
 趣味 サイクリング・ドライブ・テレビ



山口 崇 (やまぐち たかし)  
 職名 電気電子工学科 助教  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 九州産業大学工学部 助手  
 抱負 若い学生のみなさんとともに、明るい未来の技術をもとめて歩んでいきたいと思ひます。ご指導のほどよろしくお祈い申し上げます。  
 趣味 最近は特にありません。



武藤 浩行 (むとう ひろゆき)  
 職名 材料工学科 准教授  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 豊橋技術科学大学  
 物質工学系 准教授  
 抱負 高専一技科大教員交流の機会を得て、一年間ではございますが、久留米高専にお世話になることとなりました。高専と技科大は今後も相互に協調しながら発展していくものと思ひてお祈います。両者の良い面、悪い面を理解できるよい機会だと思ひてお祈います。よろしくお祈い申し上げます。  
 趣味 旅行



酒井 道宏 (さかい みちひろ)  
 職名 一般科目 (理科系) 准教授  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 岐阜工業高等専門学校  
 一般科目 (自然) 准教授  
 抱負 2年ぶりに戻ってこれが大変嬉しく思ひてお祈います。何かとご迷惑をお掛けすることがあると思ひますが、よろしくお祈いします。  
 趣味 野球観戦



浦口 健一 (うらぐち けんいち)  
 職名 総務課長  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 長崎大学医学部・歯学部附属病院  
 経営企画課主査 (予算財務)  
 抱負 高専は10年以上前に佐世保で仕事をさせて頂いたことはありますが、当然ながら昔の話。独立行政法人化後の仕組み等については、ほとんど知識がありません。ゆえに不慣れな点が多くご迷惑お掛けすることかと思ひますが、久留米高専に1日でも早く溶け込んで少しでもお役に立てるよう精一杯頑張りたと思ひますので、よろしくお祈いいたします。  
 趣味 車を走らせていろいろな風景に出会うこと、映画祭での映画鑑賞



坂田 聡 (さかた あきら)  
 職名 総務課課長補佐 (財務担当)  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 九州大学財務部調達課  
 抱負 新しい環境の基で、新たな気持ちで業務を遂行いたします。認識不足からご迷惑をおかけすることも多々あるかと思ひますが、よろしくお祈いいたします。  
 趣味 特にこれといった趣味は持ち合わせておりませんが、よく映画館へ足を運んでいます。



浦川 宗久 (うらかわ むねひさ)  
 職名 学生課課長補佐  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 九州大学学務部学務企画課総務係長  
 抱負 高専は初めての勤務になりますが、早く雰囲気慣れて戦力になれるようがんばります。よろしくお祈いします。  
 趣味 毎週、土曜日にとり北茂安で小学生にラグビーを教えています。



篠原 啓介 (しのはら けいすけ)  
 職名 総務課用度係員  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 茨城高専 技術教育支援センター  
 抱負 皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思ひますが、1日も早く久留米高専の一員として認められる様に頑張りますので、どうぞよろしくお祈いいたします。  
 趣味 釣り



岩橋 道宏 (いわはし みちひろ)  
 職名 総務課施設係主任  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 有明高専総務課施設環境係  
 抱負 教職員・学生の皆様にとって、より良い教育・研究環境になるよう、精一杯頑張りますので、よろしくお祈い致します。  
 趣味 ドライブ・音楽・映画鑑賞



平井 修二 (ひらい しゅうじ)  
 職名 臨時用務員  
 (平成21年4月1日付)  
 前職 福岡日産自動車、積和建設九州  
 抱負 まだ、業務に不慣れでご迷惑をお掛けするとおもいますが、よろしくお祈いします。  
 趣味 日曜大工・ガーデニング・旅行  
 車と植木でわからない点がありましたらいつでもご相談ください。



**中山 将人 (なかやま まさと)**  
 職名 一般科目 (理科系) 准教授  
 (平成21年8月1日付)  
 前職 富山県環境科学センター 水質課  
 主任研究員  
 抱負 右も左も分からず、ご迷惑をお掛けする  
 ことがあるかと思いますが、どうぞ  
 よろしく願います。  
 趣味 自転車



**山崎 幸子 (やまさき さちこ)**  
 職名 総務課総務係事務補佐員  
 (平成21年8月1日付)  
 前職 抱負 まだまだ業務に不慣れで皆様にご迷惑  
 をおかけすることがあると思いますが、  
 一生懸命頑張りますのでどうぞよろし  
 くお願いいたします。  
 趣味 映画鑑賞・音楽鑑賞・雑貨屋めぐり



**榎崎 亮 (ならさき りょう)**  
 職名 一般科目 (理科系) 助教 (平成21年9月1日付)  
 前職 大阪大学大学院理学研究科 特任研究員  
 抱負 久留米高専は自立の精神をかかげる校風だと聞いております。私の出身高校の茨木高校も自主・自律を重んじる  
 学校でしたので、当時の十代後半の自分を思い出しながら、今度は教員という立場から楽しくやっていきたいと  
 考えております。  
 趣味 楽器の演奏 (ジャズのドラムをたたいています。)   
 音楽鑑賞 (昨年ドイツに住んでいたのと、ノダメカンタービレの影響で、クラシック始めました。)

## 編入生紹介

久留米高専に来てみて  
 材料工学科4年 高取あい

私が編入する前、授業についていけるのか、定期試験で得点がきちんと  
 取れるのか、友達はできるのかなど、不安なことがいっぱいありました。  
 これまで通っていた人たちは三年生のときから専門的なことを学んでいて、  
 私は1年遅れて専門に触れたことになります。その1年のブランクは結構大  
 きい気がします。でも、先生方が補習して下さったり、クラスと同級生達  
 が優しく教えてくれたりしたので、だいぶ金属について分かってきました。  
 また、私がこの学校に入った後で、入る前に比べて大きくイメージが変わ  
 ったことがあります。それは、みんなもっとまじめに勉強しているのかと  
 思ったら、結構自由に生活していたことで、かなりびっくりしました。自  
 分のことは自分ですということは今までしていなかったもので、最初は慣  
 れるのが大変でした。  
 また、編入するに当たって一番不安だったのが、友達関係でした。三年  
 間一緒だったみんなの中に一人入っていくのはかなり不安でした。でも、  
 みんな優しく、仲良くしてくれて、まだ三ヶ月しか経っていないのに、  
 今まで一緒にいたかのように溶け込んでいるように感じます。  
 最後に、私は本当に久留米高専に編入してきてよかったなと思います。  
 これからもたくさん良い思い出を作っていきたいです。

久留米高専に編入学して  
 電気電子工学科4年 藤戸貴文

私は福岡工業高校 (以下、福工) から編入してきました。  
 福工は明治29年創立した西日本で一番古い工業高校だと言  
 われています。同じ工業とはいえ実際に知らない人が多い  
 と思うので、福工の近況を紹介させていただきます。  
 福工の進路は就職、進学どちらにも半分ほどいて、就  
 職では、西部ガスや東芝、日立製作所などの企業に行った  
 人もいます。進学では、私の科から国立大学14名、私立大、  
 各高専編入や専門学校などに入学しました。また多くの  
 人が資格に挑戦して、例えば、電気工事士や基本情報技術者、  
 中にはソフトウェア開発技術者や技能士などを取る人も  
 います。  
 福工では進学するとき、先輩方の情報を元に自分のやり  
 たいことができる大学を見つけます。久留米高専に編入し  
 た先輩がいなかったため、私は具体的な目標を持っていま  
 せんでした。しかし、入学してこの高専の中で、福工では  
 できなかった研究を見つけて、打ち込みたいと思うよう  
 になりました。

## 留学生紹介



**機械工学科3年 モハマドシャリフディン**  
 私はマレーシアのランガヌから来た留学生のモ  
 ハマドシャリフディンです。私の兄弟は私を入れて  
 11人で、私は9番目です。得意ではなくても、私はバ  
 ドミントンとチェスが大好きです。  
 マレーシアは日本ほど技術が発達してない国なので、  
 私は日本の技術を一生懸命に学んで、自分の国も発  
 展させたいと思い、久留米高専に留学生として来ま  
 した。  
 ここに来る前にいろいろなことを心配しました。  
 私は日本で生きていけるかな、先生は優しいかな、  
 日本人の友達ができるかな、ということが本当に心  
 配でした。しかし、思っていたよりぜんぜん違います。  
 福岡空港に着いたばかりのときから先生の親切さ  
 を感じました。中尾先生は私たちのため、マレー語で「日  
 本によこそ」と書いた紙を持って私たちを迎えま  
 した。その時はすごうれしかったです。授業のとき、  
 先生方は色々な事を助けてくれました。日本人の友  
 達も毎日笑顔を見せて、私は色々な事を教えてもら  
 いました。本当に楽しいです。  
 私は、久留米高専に留学するのは、勉強のためで  
 だけでなく日本の文化や習慣や日本人の考え方を  
 もっとよく知りたいからです。だから、皆さん、私と  
 もっと話してみてください。よろしくお願いします。



**機械工学科3年 モハマドヘルミ**  
 私は、モハマドヘルミです。マレ  
 シアから来ました。私の趣味は、  
 サッカーをすることです。日本に  
 行く前は、2年間、マレーシアで日本語、  
 英語、数学、化学、物理を勉強しま  
 した。そして、日本に行く前には必  
 ず文部科学省の試験に合格します。  
 文部科学省の試験に失敗したら日本  
 には行けません。  
 日本に来た理由は、日本の技術が  
 優れているからです。特に自動車の  
 技術です。私は、久留米高専で一生  
 懸命勉強したいです。また、久留米  
 高専を卒業したら、日本の大学に進  
 学したいです。日本は美しい国なの  
 で、長い時間ここに住みたいと思  
 います。それをできたら日本ででき  
 ると思います。よろしくお願いします。

## 第46回(平成21年度)九州沖縄地区高専体育大会の成績報告

## 団 体

男子バスケットボール部		優 勝	全国大会出場
-------------	--	-----	--------

硬式野球部		準優勝	全国大会出場
-------	--	-----	--------

柔道部		第 3 位	
-----	--	-------	--

## 個 人

水泳部			
4S宮川祐輝	200m平泳ぎ	第 3 位	全国大会出場
4C倉地康平	個人メドレー	第 1 位	全国大会出場
〃	100m自由形	第 2 位	
4M永尾健太	200m背泳ぎ	第 3 位	全国大会出場
2A隈 光祐	200m自由形	第 1 位	全国大会出場
〃	400m自由形	第 3 位	
2S嶋田健太	個人メドレー	第 3 位	全国大会出場
2S田崎大剛	200mバタフライ	第 3 位	全国大会出場
1C碓井美咲 (女子)	100m自由形	第 1 位	全国大会出場
〃	50m背泳ぎ	第 1 位	全国大会出場

陸上競技部			
3E久積 慧	走高跳	第 3 位	全国大会出場
1S藤吉輝明	100m	第 3 位	全国大会出場
〃	200m	第 2 位	

バドミントン部	全国高専体育大会開催校枠での出場		
---------	------------------	--	--

## 第44回(平成21年度)全国高専体育大会の成績報告

男子バスケットボール部		予選リーグ第 2 位	
-------------	--	------------	--

硬式野球部		1 回戦敗退	
-------	--	--------	--

バドミントン部	男子	初戦敗退	
〃	女子	2 回戦敗退	

水泳部			
4S宮川祐輝	200m平泳ぎ	予選敗退	
4C倉地康平	個人メドレー	決勝進出	棄権
〃	100m自由形		棄権
4M永尾健太	200m背泳ぎ	予選敗退	
2A隈 光祐	200m自由形	予選敗退	
〃	400m自由形	棄権	
2S田崎大剛	200mバタフライ	予選敗退	
2S嶋田健太	個人メドレー	決勝進出	第 7 位
1C碓井美咲 (女子)	100m自由形	決勝進出	第 2 位
〃	400mR	決勝進出	第 2 位九州沖縄地区

陸上競技部			
3E久積 慧	走高跳	第 6 位	1m 81
1S藤吉輝明	100m	予選敗退	11"76
〃	200m	予選敗退	24"07
5A木須信太郎	オープン男子200m	予選敗退	24"09
5M西 浩幸	オープン男子200m	予選敗退	25"56

英語弁論大会			
5C筒井亮太	Speech	第 3 位	

## 学生相談室から皆さんへ



### 学生相談室長 福田 幸一

4月から新任の学生相談室長の制御情報工学科福田幸一です。本校OBで今年62歳になります。今年度の学生相談室のメンバーは、森、小宮、筈木、山本（哲）の各先生で、リーフレットや教室掲示でご存知でしょう。また、12月に「相談室だより」を発行予定ですので、その時に各メンバーの紹介をしていただきます。相談員は、学生の皆さんの悩みなどの相談に適切に応じることができるように年に数回、全国規模や福岡地区の研修会に参加し、スキルアップに努めています。学生相談室は、平成12年度に設置され、今までの相談件数は多い年で100件を超え、少ない年で約30件です。

学生相談室では、スムーズに高専での学生生活に入れるように、平成19年度より1年生を中心に希望クラスで社会的スキル、学校満足度、学校適応度に関するアンケートを実施しています。学生の皆さんは、アンケート結果からその時の自分の状況を知ることができるので、学生生活の参考にしてください。

私が学生の皆さんと接触するのは、主に授業や休み時間、クラブ活動の時などですが、授業中の皆さんの状態が一番気になっています。例えば、机にうつ伏せ、常に下向き、顔色が悪い、遅刻・欠席が多いなどです。その理由は、その日の体調、睡眠不足、授業についていけない、などいろいろあると思います。学生相談室は、担任の先生、科目担当の先生、クラブ顧問の先生、家族、友人とともに、学生の皆さんのさまざまな悩みの解決に向けて支援する応援団です。遠慮なく学生相談室を訪ねてください。

## カウンセラーの紹介



### 富田 克 相談医

久留米大学からお見えになる相談医の先生です。久留米大学病院精神神経科外来医長の後、現在は医学部神経精神医学講座医局長を勤められており、臨床経験も豊富です。

今まで学生相談室に対して、さまざまな問題の解決に向けた、多くの有益な、具体的なお助言をいただいております。

今年度も、数回程度来校されますが、不定期のため、相談希望者は相談員に問い合わせてください。



### 穴井 千鶴 カウンセラー

2007年度より、スクールカウンセラーとして勤務をしています臨床心理士の穴井です。今年度は毎週、月曜日に来校し、学生や職員の皆さんの心身の健康の回復、増進につながるような支援活動を学生相談員の先生がたと一緒にしています。

皆さんは、『カウンセリング』や『カウンセラー』にどのようなイメージを持っていますか？ある大学の新生に質問したところ次のような答えがありました。

- ① 愚痴をきいてくれる
- ② アドバイスをしてくれる
- ③ 友人に話しにくいような重たい話をきいてくれる
- ④ 自分の話を受け止めてくれる

皆さんのイメージと一致する答えがあったでしょうか。

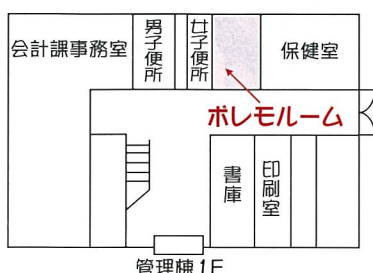
皆さんは、困った事や悩みごとがある時はどうしますか。まず自分で悩みの原因を考えたり、自分なりの解決方法を試してみたりすると思います。それでもうまくいかない時は、友人や同僚、家族に話をする、そして、どうしても解決できない時、カウンセラーや相談員に相談されるのではないのでしょうか。

では、何をカウンセリングに求めて来られるのかというと、多くの方は「まず、このように苦しく、辛い自分の状態を解ってほしい」ということです。それが十分できた後初めて、困っていることや悩みの解決方法をどうするかということがテーマになります。

カウンセラーは皆さんと一緒に考えたり、皆さんが気持ちを整理したりする手助けをしますが、解決のための答えは、実は、誰でもない、皆さんの中にあります。

学生相談室スタッフ一同、皆さんからの相談を待っています。よろしく願います。

## ポレモルーム(相談室)の位置



ポレモルームでのカウンセリングは、基本的に予約制になっています。相談室の教員、看護師が受け付けていますので、気軽に声をかけてください。また、予約の状況はポレモルーム入り口の掲示板に示してあります。

## 近隣小学校への特別講師派遣を通しての理科教育支援

久留米高専では、平成19年度より福岡県教育委員会と連携して、近隣の小学校で特別授業（出前授業）を行っています。

平成20年度は15校の小学校の5年生を対象に実験や実習を行いました。これらの出前授業を通して地域に根付いた高専として、地域の小学生への理科教育支援を行うとともに、地域教育界との連携強化を目指しています。また、これらの活動で得られた知見や体験を本校の教育・研究等にフィードバックし、改善を図ることもその目的の一つです。

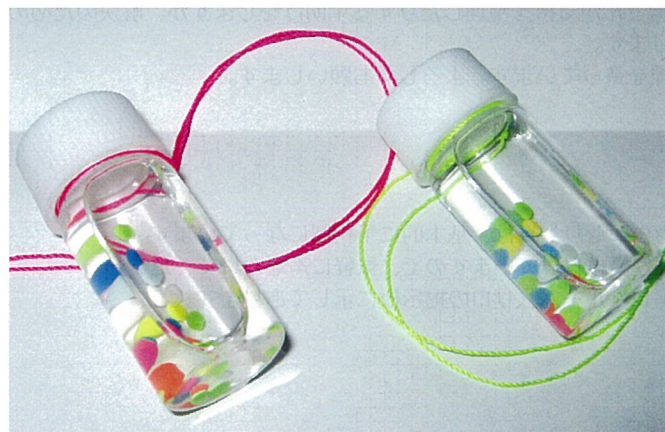
今回は、久留米市田主丸小学校を担当した生物応用化学科の松田先生と、柳川市立皿垣小学校を担当した材料工学科の久保先生に出前授業の様子を報告してもらいました。

### 久留米市立田主丸小学校の 出前授業について

生物応用化学科 松田 貴暁

平成20年2月6日に、私と教育研究支援室の富永洋一技術専門職員との2名で、久留米市立田主丸小学校を訪問し、5年生を対象に小学校理科支援事業の特別授業を行いました。

今回は、『マイクロカプセルでネックレスを作ろう』というテーマで計画した特別授業を行いました。人工イクラなどに使われているマイクロカプセルについて解説を行い、その後に実際にマイクロカプセルを作製する実験を行いました。さらに、作製したマイクロカプセルをサンプル瓶に入れて、ネックレスを作ってみました。マイクロカプセルの作製は、液体に液体を混ぜて固形物ができてくるという、日常ではあまりみられない物質の変化を体験できる実験で、子供達は大変興味深く実験に臨んでいました。実験を進めていくと、様々なオリジナルの作製実験があちこちで行われ、色々なマイクロカプセルがどんどん作られてきて、子供達のあふれる好奇心・発想・応用力が感じられました。“ものづくり”の楽しさと、“どういう仕組みで？”という探求心のかげ算から、たくさんのアイデアが生まれてくることを改めて実感した授業でした。



作製したマイクロカプセルのネックレス

### 柳川市立皿垣小学校での出前授業

材料工学科 久保 甚一郎

平成20年11月26日に柳川市立皿垣小学校で、教育研究支援室第3グループ長の吉富俊之技術専門職員と出前授業を行いました。

まず、日本の貨幣を観察しながら、金属元素、金属の色、貨幣の成分、製法、寸法および重さなどを紹介しました。次に、市販の七種類の針金（針金、ピアノ線、銅線、形状記憶合金線、アルミ線など）を使って、各金属・合金の性質、特徴を実験で確かめました。最後に、形状記憶合金を使った色々なおもちゃ（しゃくちゃん、パピオンなど）や手作りのばねなどをお湯に浸けたり、電気を通じて加熱することにより、もとの形に戻ったり、動いたりすることを確認し、形状記憶合金の不思議さを体験してもらいました。

小学生の皆さんはよく授業を聞き、喜んで自ら実験に取り組んでいました。参加した小学生の生き活きとした感想文を読んでもみると、子供たちが素直に感動している様子が分かり、出前授業が理科離れを防ぐには有効であることを改めて実感しました。



形状記憶合金を使った実験の様子



## 施設係からのお知らせ

### ■ 空調設備工事について

本件にかかるエアコンの設置工事が、3月27日に完了いたしました。この工事で、固定教室や残りの講義室にエアコンが設置されたこととなります。

本年度からエアコンの使用が可能となりますが、部屋を必要以上に冷やしたり暖めたりしない、電源をこまめに切るなどして省エネやCO<sub>2</sub>削減の事も心がけて上手に使って行きましょう。

※エアコンの使用は原則として、冷房期間は7月1日～9月30日まで室温26℃、暖房期間は11月末～来年3月中旬まで室温20℃とします。

### ■ 産学民連携テクノセンター新築について

ここ数年、概算要求で申請していた産学民連携テクノセンターの設置が高専機構から認められました。現在、建物新築工事の設計を行っております。

本校では、共同研究事業及び産学官連携事業などを積極的に実施しているところですが、既存施設ではスペース不足・狭隘等の問題が生じていました。産学民連携テクノセンターはこれらの問題を解消し、企業・地域との窓口として、高専の知的資源の有効活用と教育研究への整備のために、専攻科棟の西側に設置するものです。

この建物は2階建てで、1階は、東西方向に廊下を設け、その南側には機械・電気・制御系が使用する実験室を、北側には生物科学系が使用する実験室を、また2階は、セミナーや公開講座・講義等の他、一般公開実験も可能な大部屋形式の多目的室を計画しています。

工事の期間は9月～来年の3月を予定しております。工事中は、駐車場の一部使用制限、工事車両の往来での通行規制等でご迷惑をおかけいたしますが、ご協力お願いいたします。

## 寮生会活動

寮務主事補 山崎 有司

寮では、寮生によって組織された寮生会によって、様々な取り組みがなされています。今回、紙面を借りて、寮生会の活動の一部を紹介したいと思います。

最初に紹介するのは、5月16日に行った寮祭です。寮生会の発案で、今回の寮祭はボーリング大会に決まりました。寮生80人と寮務関係教職員5名が参加し、3人1班になって平均スコアを競うチーム戦を行いました。また、個人成績最優秀者にはトロフィーが贈られました。夕方からは寮の駐車場で、ボーリング大会に参加できなかった寮生も交えて、バーベキューで夕食となりました。

次に紹介するのは、T.A. (Teaching Assistantの略) と呼んでいる、1年生への勉強指導です。1年生が水曜日の夜9時から60～90分ほど食堂に集まり、そこに、上級生(主に4年生)に指導員として同席してもらい、分からないところがあれば上級生に質問するという学習会をしています。T.A.とはこの指導員のことで、この学習会の名前にも使っています。



寮祭ボーリング大会の様子



寮祭バーベキューの様子

## 女性の自立について ～ 映画に見る女性の生き方～

校長 前田 三男

昔は「高専」といえば、男子校というイメージが強かったようですが、最近では久留米高専も、女子学生が全校で約21%を占めるに至っています。私はこれまでことある毎に、学生諸君に「自立の精神」の重要性を強調してきました。相手が女性となると「自立」もまた違った面が出てきますので、今回は例によって映画をネタにしながら、「女性の自立」について、少し考えてみましょう。

### 男に支配された女の一生

女性の一生を描いた映画として、私が一番強烈な印象を持っているのは溝口健二監督が1952年に作った「西鶴一代女」です。井原西鶴の「好色一代女」をアレンジしたもので、一時期松平家に召し抱えられて、嗣子までもうけたお春（田中絹代）という女性が、不運な目に遭って数々の男性遍歴の後、世の中から見捨てられ、最後は物乞いの比丘尼になって、のたれ死にする話です。

江戸時代の「くるわ」などが登場する古風な舞台なので、若い人にはなじみにくいかもしれませんが、ごく最近の映画では「嫌われ松子の一生（2006年、中島哲也監督）」というのがあります。中学校の先生をしていた松子という女性が、ふとした事件で職を辞し、不器用な人生を送って破滅するという点で、基本的には同じ構造です。ただしこちらは、CGを駆使したコメディ調の映画です。この他にも「女の一生もの」というべきジャンルが昔から映画や小説にあります。それらはいずれも、ヒロインの生活が男性との関係で非常に不安定に変動し、女性はそれに翻弄される点で共通していることに注意して下さい。

一方、「いつか王子様が白馬に乗って登場し、自分に幸せをもたらしてくれる」という夢は、昔からどの女性も密かに抱いてきた願望でしょう。古き良き時代のハリウッドは、見る人に夢を与えるために、いろいろな障害を克服して結ばれた恋人同士のキスシーンで終わるという、ハッピーエンディングの恋愛映画を量産してきました。1950年代までのハリウッド映画の何割かはそういうストーリーなので、わざわざ例

を示すことはないかもしれませんが、その元祖とも言うべき傑作として1934年にフランク・キャブラの手によって作られた「或る夜の出来事」を挙げておきましょう。

この作品は、その後のロマンティック・コメディの原型となりました。主演したクラーク・ゲブルはその後20年間にわたって、「夢のスター」の座に君臨します。大詰めの結婚式の場で、結婚相手を取り替えるという離れ業をはじめて披露したのもこの映画です。30年代から50年代にかけて、ハリウッドで無数に作られたミュージカル・コメディもその枠組みはほとんど同じです。

実を言うと、私はそういう脳天気なロマンティック・コメディが大好きで、これまでもその種の映画をずいぶん見てきました。見る人を幸せな気分にするのが映画の効用だとすれば、最初に挙げた「女の一生もの」よりは、こちらの方が遙かに楽しい映画です。しかし考えてみると、キスを交わした恋人同士が、その後幸せに暮らせたどうかは、だれもあずかり知らぬことです。冷静な見方をすれば、たった一人の男性に自分の一生をすべて託してしまうのは、かなりのリスクを伴うはずで

### 女性の社会進出

女性が社会に出て働くのが普通になったのは、それがもっとも進んだアメリカにおいても、1960年代以降に起こった現象です。それまではアメリカでも、結婚後は専業主婦になるのが普通のことと考えられていたようです。私は1984年頃、カナダにしばらく留学していましたが、女性も学校を終えたら社会に出て働くのが当たり前といった状態になっているのが、強く印象に残りました。そういう社会では、女性が何の理由もなく専業主婦をするのは、能力がないことのように思われるらしく、働いてない女性は「今は、これこれの理由があるから」と、盛んに言い訳をするのを聞きました。

また一方で、急速な女性の社会進出が男性に与えた影響も大きなもので、研究室の同輩の男性から、「日本はいいなあ。こちらは女性が強くなって住みにくくなったよ」といったグチも聞かされました。

そういった男のグチと、男女間の「闘争」を映画化したファンタジックなコメディに、「イーストウィックの魔女たち（1987年、これは後に舞台ミュージカル化もされてます）」があります。この映画は彫刻家、音楽教師、ライターとして自立した生活をしている3人の熟年女性の心に「白馬の王子願望」があることを見抜いた悪魔（ジャック・ニコルソン）が、白馬の王子に扮して現れ、コロリとまいった3人の女性を手込めにして、全員はらませてしまうという話です。だまされたことに怒り狂った3人は、「女性の敵」ニコルソンを徹底的にムシってしまいます。

イギリス映画「赤い靴（1948年）」は、今でも色あせることのない格調高きバレエ映画の傑作ですが、同時にワーキングガールの悲劇を扱った先駆的な映画と見ることもできます。ヒロインは若い才能のあるバレエリーナですが、高名な指揮者と結婚し、専業主婦になることを迫られます。一方で彼女に期待をかける演出家との間で板挟みになって、自殺するというお話です。その時代にあっては、バレエは、女性が男性より優位にたてる数少ない職業でしたから、その仕事に対する責任も重かったのでしょう。

1960年代後半の学園紛争時代に世界的に起こった「ウーマンリブ」は、長いフェミニズムの歴史の中でももっとも過激な闘争で、西洋ではこの時期に女性の社会進出がかなり急速に進んだようです。女性が外で本格的な職業を持つようになると、結婚や育児等に関して、当然いろいろな問題が生まれます。それに対して、「ウーマンリブ」の闘士が、男性に敵対的で仮借のない態度で臨んだことは、あとに多くの問題を残したようです。それを極端に推し進めると、男と女は別々に暮らすしか手がなくなります。

世の中には男と女しかいないのですから、その間がギスギスするのはどちらにとっても住みやすい状態とは言えません。お互いに「譲り合いの精神」が必要でしょう。女性が社会に進出するには男性の理解が必要ですが、男性の方は長年の習慣をそう簡単には変えられませんから、女性の社会進出が急激に進むといろいろな摩擦が起こります。しかし結婚は普通若い世代同士でするものです。根本的な解決は、最初からそういう環境で育った若い世代の男性がちゃんと対応してくれることを期待するしかないでしょう。もっとも、私の妻や娘たちに言わせると「九州の男性は未だに遅れてる」そうです

から、そういう結婚の場合には「要注意」です。

## 社会進出が女性の生き方を変える

多くの女性が社会に出て、男性と対等に働くことを経験することによって、女性の生き方そのものが変わったのではないかと思います。経済的な面もありますが、精神的に見て、それまで男性に依存してきた女性の意識が変化することに大きな意味があります。しかし、日本は未だに女性の社会進出という点では「後進国」です。なかなか進まないのは、施設など社会的な対応が遅れているせいもありますが、女性自身が、何か困難に出会うと結婚生活を逃げ道に使ったり、どこかで「玉の輿願望」が顔を出してしまう甘さがあるように感じています。

私には娘が2人います。久留米高専に来てからずっと私は、「自立の精神」の重要性を言い続けてきましたが、これは最近始まったことではなく、自分の子供たちには昔から言い続けてきたことです。

宮崎 駿のアニメーション映画「魔女の宅急便（1989）」と「千と千尋の神隠し（2001）」とはどちらも、10才ぐらいの少女が親元を離れ、見知らぬ社会の中で「自立」を強いられる話です。悪戦苦闘の末、彼女たちは自分の才能を発揮できる仕事を見出して、その世界に溶け込みます。昔家族でカナダに行ったとき、娘2人は中学1年と小学5年でした。私たちのアパートはトロントという大都会の中心にあり、その近くの公立学校に入れました。これはあとで考えてみると、娘たちにとっては「千と千尋の神隠し」の少女千尋が、不意に得体の知れぬ温泉宿に放り込まれた状態に近かったかもしれせん。

カナダの学校は小学校と中学校はつながっていて、9年生まで一緒に教育されます。スラムっぽい地区だったせいか、白人はむしろ少数で、いろいろな人種が入れ混じり、しかも9年生、つまり中学3年生にもなると、西洋人は急に大人になるようです。学校にモヒカン刈りのパンクファッションで現れて、たばこを吸ったり、男女がラブシーンを演じたりするような状態だったようで、これは彼女たちにとってはまさ

に別世界でした。英語もろくに話せないまま帰国したので、この外国生活は娘たちにあまり影響なかったかのように見えました。必ずしもそうではなかったようです。「自分は自分、他人は他人」という自主独立の精神がその時に養われたように思います。

娘たちはその後、どちらも普通高校に進み、「美術」と「音楽」という、普通の人とは少し違った道を目指しました。日本の高校は大学受験を目標としてかなり画一的な指導をするので、娘たちは早々にそういう教育からはドロップアウトせざるを得なくなりました。あっさりドロップアウトして友だちと違う道を迷うことなく歩むことができたのも、その時培われた「自立の精神」が役に立ったと思っています。

「専門学校」というのは、本来職業人を養成するところです。中でも「高等専門学校」となると、将来は指導的立場になるプロフェッショナルの育成を目指す教育機関です。ある技能を身につけた職業人を育てる学校という意味では、娘たちがいった音楽大学や美術大学とも似たような性格を持っています。したがって、久留米高専を出たからには、全員社会に出て、何らかの職業に付き、その技量を生かして社会的に活躍することが期待されています。

この期待は男性にとっては当たり前と思われるでしょうが、女性にとっても同じです。結局のところ、女性にとって「自立」とは、社会に出て一人前に稼げるようになることだと思います。夫との離婚とか、死別とかいった困難な事態に遭遇した場合にも、あるいは種々の事情で独身を余儀なくされる場合にも、女性を精神的にも経済的にも支えてくれるのは、身につけた仕事ではないかと思います。いろいろな事態が考えられますから、それは実際に仕事を続けられるかどうかとは別の問題です。「いざとなれば自分一人で生きてゆける」という自信を持てるか持てないかで、その人の人生に向かう態度そのものが違ってくるのではないのでしょうか。



ワーキングガールの悲劇を描いたバレエ映画「赤い靴」  
(新聞紙と踊るモイラ・シアラー)

本号掲載記事の無断転載を禁止します